

KEEP ON TRY

社長の今月お伝えしたいこと

VOL60

2022年10月

最近、対面式の展示会やセミナー等が復活し始めました。
コロナ禍において、セミナーはほとんど ZOOM などを利用したオンラインに変わりました。
当初は「味気ない」と思っていたオンラインセミナーも、慣れてくると、時間と交通費の節約につながり、たいへん便利でしたが、どこかで「味気ない」思いは消えませんでした。
商品などはやはり直接見ないとわからないし、質問も対面で聞いて初めて納得するところがあります。
さきほど時間と交通費の節約につながると言いましたが
一見ムダに見える移動の時間が、日ごろ考えないことや、アイデアがひらめいたりする瞬間だったりするんですね。各地の駅弁だって食べたいじゃないですか(笑)

弊社は今年、イベントを通常の年4回のペースに戻しました。
たしかに準備は大変です。内容を考え、展示品を確保し、テーマに沿ったチラシやパネルを作る。
もちろん会場も手づくりですから時間がかかります。
その会場も2日目が終わると一斉に解体・撤収し、もとの職場に戻します。その早いこと(笑)

そんなイベントも今回で73回を迎えます。
いろんなことをやってきたなあと思いながら、時節に合ったテーマはもちろんですが、独自の視点で捉えた商品価値をパネル展示にするというやりかたは一貫しておこなってきました。
そこが自社の強みというか、売りだと思っています。

商品のポイントと、日ごろお聞きするお客様のナマの声を、どうつなげようか。
この商品にはメーカーですら気づかない価値があるんじゃないのか。
そんなことを思いながら、あのパネルは作っています。
そんな視点は、一見ムダなような、あの移動時間に考えることが多いんですね。

『なまけものになりなさい』これは、水木しげる氏がよく色紙に書かれた言葉でしたが人生において、時々、怠けること(=無駄なこと)は、生きていくうえで大切なことだそうです。
怠けるわけではありませんが、ネタを探しに、あちこちの展示会に行くことは私にとって大切なことです。
でも、ぼんやりしているのも好きです。何よりもほっとしますよね。
すごしやすい季節になりました。皆さんも、そんな「怠ける」時間を作りませんか(笑)。

監視カメラについて

現在日本全国に防犯を目的とした監視カメラは何台あると思いますか？

現在、日本に監視カメラは 500 万台あるといわれています。

街頭に監視カメラが設置された当初、かなりの反発がありました。たしかに普通に歩いていてもカメラに記録が残るわけですから、あまり気持ちがいいものではありませんでした。

しかし、今はどうでしょう。ほとんど誰も言わなくなりました。この監視カメラが設置されてからの犯罪の検挙数は年々上がり続け、令和 3 年では 46.6%の検挙率、約半数の犯罪が検挙されているんですね。

実際に犯罪だけでなく、迷子や行方不明者も監視カメラにより足取りがつかめ、発見されるケースが多くあります。

監視カメラは今や、防犯だけでなく安全管理・品質管理のために必要なものになっています。

私も総合防犯設備士として、防犯カメラ設置についてご相談をうけますが、カメラ設置にあたっては個人情報保護法に基づくアドバイスを心がけています。

必ず行わなければならないことは、カメラ設置の目的と、カメラ設置の表示、さらには第三者への提供をしないことです。

しかし一昔前なら google map などは個人の家を特定できてしまうため、議論を呼んだ時期もありましたが、今はありません。私たち自身も監視カメラへの意識が変化してきたんですね。

これからの防犯機器は個人情報を取り扱うものが増えると思います。



床材をどう選ぶ

床リフォームは基本中の基本ですが、意外と業者任せのお客様が多いことに気づきます。

床の素材は多種多様ありますが、やはり使用目的に応じたタイプを選ばれることをお勧めします。

その前に床リフォームは壁紙と異なり、1 度リフォームすると何年もご使用いただくものです。お部屋の中も空っぽにする必要があるため選びかたは重要になります。

まず撥水機能を求めるか。これはキッチン等の水周りに使用される場合、食事をこぼした際、ある程度の撥水機能があると便利です。撥水機能を持つ床材は高いものが多いのですが、とても重要なポイントです。

次にキズに強いか。イスなどを引いた際の凹みやスリ傷が付きにくい強化タイプのもをおすすめします。私の場合、ほとんどがこの強化タイプを選びます。

最後にすべりにくいかなどです。これはペット対応床になりますが、スリッパをご使用になった際、すべりやすい床は危険です。住宅内における事故の2位は床による転倒です。ご高齢者のお部屋にご使用いただく場合、歩く床の範囲を判断し、床の種類はお選びいただくことをお勧めします。またフロアマット等のご使用も考えましょう。

床の選びかたはとても大切です。



「懐かしの」

「懐かしの」。そんな言葉に魅了され、私の本棚には「日本懐かし大全シリーズ」がずらりと揃っています。

懐かし自販機にはじまり、懐かしアイス、懐かしお土産キーホルダー、懐かしおまけ、懐かしソノシート、懐かしゲーム、懐かしジュース…

ほとんど昭和の時代に、というより子供時代に慣れ親しんだものが満載です。

7 年前、まだブーム前の「懐かしの自販機」を求め、全国を旅しました。

ノスタルジックなものに愛着しながらも、ある程度の先端は取り入れていく。

複雑な昭和 41 年生まれの私デス。

